

平成29年度

事業報告書

社会福祉法人 田辺市社会福祉事業団

平成29年度 事業報告書

平成29年度の事業計画に 1. ご利用者の健康管理と行動力強化 2. サービス体制の強化 3. 防災対策 4. 施設の保守管理の4件を事業計画の骨子として定め、サービスの適正な展開と共に、課題の解消に努めてきました。

この地で高齢者福祉サービスを開始して以降、すでに20年余が経過しました。この20年の間には入居者の高齢化が進み、入居者に対する要介護者の比率も大きくなっています。

施設ではご利用者の健康長寿を目標にして、定時の起床や就寝と共に、健康体操を朝夕に実施する等を行って来ました。また、医療的な取り組みとしては、定期検診の実施や嘱託医による往診、歯科医師の訪問診療等、専門職による診察も続けています。今期も、このような施設の関りによって、身体的に安定した生活を営んでいただきました。

しかしながら、経済的生活面では課題を持たれている入居者が少なくなく、無年金者と厚生年金等の受給者との間に、金銭収支に格差が存在し、例えば外出行事の実施時等で、共同生活を営む上での障害となる場合が散見されます。

入居以前からの金銭的課題を解決できないまま入所されている方もあり、施設では入居者との協議の中で、課題解決に取り組み、専門家の助けを得ることで、今期は4名(5回)の方が判明した高額な負債を解消して、こころ安らかな日々の生活が営まれるようになりました。(時効の援用)

法人運営については、法人運営理念や基本方針を遵守して、ご利用者に安定した生活を継続していただけるようつとめてきました。

特に今年度は、介護サービスを24時間提供できるように、事業体制の見直しと許認可の変更を、関係先と調整してきました。年度末には、基礎となる職員の安定確保を図ることができ、サービス体制を固め、平成30年4月からの切り替えに備えました。

今年度も、設備機器や備品の管理に万全を期し法人運営を行いました。

田辺市に改修をお願いしていた、給湯管の改修にも着手していただき、改修された部分では、頻繁に発生していた漏水は皆無となり、ご利用者も職員も安心できる環境となっています。30年度も残る老朽管の取り換えを実施していただける方向になっております。

平成29年度田辺市高齢者複合福祉施設「たきの里」各施設の事業を以下の通り行いました。

(社会福祉事業)

1. 田辺市社会福祉事業団本部

以下の目標をもって運営に取り組みました。

1. 適切な事業団運営に取り組みます。
2. 法人内部の月例報告等を通じて現況を把握し、健全な会計運営に努めます。
3. 法人・施設情報等の公開に努めます。
4. 施設職員の資質向上にむけた研修会を定期的実施します。
5. 人事管理の適正化を図るため、採用から職員育成方法の検討と共に、職責の明確化に取り組みます。

法人本部 事務所 平成29年度 h29.04.01～h30.03.31

法人役員会開催状況 規定回数の開催を行いました。

年	月	日	役員会	審査項目(議案)	出席	欠席	監事
29	5	10	監事監査	平成28年度事業報告及び決算報告			2
29	5	15	理事会第54回	法人代表理事等の選任について審議し、採決の結果、代表理事福田安雄、業務執行理事及び施設の長に高橋進一を選出する。議案第1号 平成28年度事業報告・決算報告の承認を求めるとして、議案第2号 次期評議員会「平成29年度第1回(38回)」について審議し、開催日時は平成29年6月5日午後1時30分より、たきの里多目的ホールで開催すること。評議員会審議の案件は「1、平成28年度事業報告及び決算報告の審査」と「2、理事・監事を選任すること」として、出席者全員の挙手により決定した。	7	1	2
29	6	5	評議員会第38回	議案第1号 平成28年度事業報告並びに決算報告について、承認を求めるとして、議案第2号 理事・監事の選任については既決事項であるが、理事・監事に退任者が出たので、新たに理事・監事の選任について審議し、理事及び監事を選任決定した。	10	0	2

29	10	3	理事会第55回	議案第1号 事業団役員の選任について審議し、互選の結果出席理事全員の賛同を得て、理事長に福田安雄理事を選任し、業務執行理事及び事業団が受託経営する施設の長には高橋進一理事を選任した	8	0	2
30	1	1	理事会第56回	協議案件 現在運営中の事業（平成29年度現在）現況報告、運営中の事業について、収支の状況報告及び経営見通し（資料提供）を事務局から説明し協議調整を行った結果、運営中の事業の内、通所介護事業所については、29年度末をもって運営を停止し、平成30年度事業所運営については、養護老人ホームやケアハウスに運営資産を集中させる方向になった。 議案第1号 通所介護事業所人件費積立金8050千円を取り崩すことについて審議の結果、出席理事全員がやむ無しと理解し了解することとなった。	6	2	
30	3	2	理事会第57回	議案第1号 平成29年度予算の補正（第1回）について審議し満場一致により可決 議案第2号 平成30年度事業計画及び予算の決定について審議した。審議の中で通所介護事業所閉鎖時に、通所利用者への処遇をどのようにしたのか質問があり、事業閉鎖について、1月理事会決定後にご利用者に説明し、ご理解を得て移行に至った経過を説明し了承を頂いた。またケアハウスの入居一時金について質問があり、サ住等新設されて一時金が低額設定されている場合もあるが、住居費介護費等で諸費用が高くなる場合もある等々の説明をして了解を得る。質疑閉鎖後採決して満場一致可決承認となる。議案第3号 定款変更について審議し、規定の手続きとして満場一致可決となる。 議案第4号 就業規則の変更について審議し、新規事業形態の中での、職員従業時間を改めるものとして、満場一致承認となる。	7	1	2

月日	催事・行事等		職員研修会開催状況（正30、臨2、嘱4）	
4/23	食堂内照明器具更新工事	平成28年度事業完成	開催日	研修状況
4/25	新庄公民館訪問		29/5/17	メンタルヘルス研修（外部）
6/20	なごみの会訪問			25名参加

7/11	近畿老人福祉施設研究協議 会和歌山大会	和歌山市	29/7/18	拘縮予防（研 C） 15名参加
7/12	〃 事例発表 養護老 人ホーム千寿荘	和歌山市		
9/7	紅光珠・若柳真佐糸会訪問	敬老会	29/9/26	結核感染対策（保 健所）22名参加
9/11	県より長寿祝恵与			
9/28	赤十字奉仕団訪問	30名	29/11/21	拘縮予防（研 C） 12名参加
10/31	保険協会より車椅子寄贈			
11/16	社会福祉事業団近畿ブロック第 2回定例会議	当法人開催	30/2/6	接遇マナー（外部 講師） 17名参加
11/22	冷温水循環ポンプモーター 破損	緊急修理 太陽 熱学		
11/27	イルミネーション設置	安田電設		
12/11	二階幹事長に介護報酬改善 を陳情	県老協		
12/28	カレンダー配布	やすらぎ対策課 のご協力		
3/29	花見カラオケ開催			

（法人関係）

事務所 平成 29 年度特記事項

平成 27 年度介護報酬改定により、介護報酬単価が減額とされたことで、介護報酬収入が減少傾向となってきた。また、通所介護事業では類似施設が開業し、新たな利用者の獲得が困難になるとともに、ご利用者の重度化により施設入所されてデイサービス利用者が減少する等により、法人の経営環境が厳しさを増してきていた。法人運営について内部検討をすすめ、外部の情報収集等を行なう中で、法人役員会に状況を段階的にご説明を行い、平成 30 年 1 月開催の理事会において、収支課題のあった通所介護事業所の閉鎖を決定していただいた。

平成 29 年度留意事項（実施業務の方向性等）

平成 29 年度は法人改革を具体化し、進めていくための初年度であり、如何にして健全な収支バランスを目指していくのか計ってきた。3 月末には新規特定事業所発足の体制を固め、所要人員配置を確定した。

また、長年にわたり通所介護事業所をご愛顧していただいた皆様方には、ご利用いただいたことを感謝し、最後のサービスを提供いたしました。

2. 養護老人ホーム「千寿荘」

- ① 定員 養護老人ホーム76名及び生活管理指導短期宿泊事業分 2名
- ② 職員 18名 常勤換算7.0名 平成29年配置20名 常勤換算6.5名
- ③ 事業運営計画については、以下の方向性をもって取り組んでまいりました。

養護老人ホームでは、過去の生活スタイルや人生経歴の異なる入居者に対応し、充足感に満ちた生活を送っていただけるよう、援助・助言・生活支援・見守りを実行しました。

最近特異な行動をされる入居者がおられ、近隣の入居者や職員が行う接遇に影響が及ぶことがあり、都度注意を行います但其の性癖は改めてもらえません。このための気配りや防止対策を検討し実施して、自覚を促したいと考えております。

施設運営計画では、毎月の懇談会、行事毎の実行委員会、意見箱の設置等、入居者との垣根を無くす為に意見の交流を図っております。それにより問題意識を入居者と共有し、より一層生活しやすい施設となることを目標にします。

③-1 入居者処遇計画作成と実践

入居者の処遇では、個別処遇計画を詳細に作成します。作成した個別処遇を実践すると共に、客観性を失わない評価にも心掛けます。

四季折々に執り行う季節関連行事や文化活動への参加の呼び掛けを通じて、入所者間の交流を促進します。個々の趣味・特技を活かした創作・文化・クラブ活動を推進して、安らぎと充実感を備えた生活環境を構築し、少しでも活動的な生活状況にしていきます。

③-2 家族交流

入居者の親族との連携を密にする為に、親族が入居者の適切な状況把握ができるよう、所要の報告や行事活動等の情報提供を行ないます。

③-3 在宅生活移行支援

今年度は入居者1名が娘さん2人の在住する地域で、支援を受けながら生活が可能となり、当施設から措置解除退去となりました。

③-4 施設生活支援（嘱託医健診、千寿荘体操竹踏み体操）

健康の維持促進のため、体力の維持増強を目的とした機能訓練（千寿荘体操・竹踏み体操・リハビリ体操）を実施しました。また、嘱託医の往診を週1回の割合で設けたほか、適宜報告相談して治療改善のための指導を受けました。個々人の状況に即した食事を提供してまいりました。

③-5 介護保険利用支援

要介護認定を受けている入居者には、介護保険サービスの受給を受けられるよう円滑な援助を行ないました。

④日課・・・つかず離れずの感覚で確実に実施します。

⑤その他 行動範囲が相対的に狭くなっていますので、活動の活性化のため、近隣公園への歩行散策に参加を呼びかけました。

養護老人ホーム千寿荘 平成 29 年度 h 29.04.01～h 30.03.31

入院・新規入居者・退去者の状況

新規入所者	5名		入居理由	諸事情あるも一般的には「在宅生活の困難」が理由			
退去者	7名		退去理由	入院先死亡5名 措置解除(入院)1名 (移籍)1名			
入退院状況	骨格	循環器	呼吸器	消化器	脳神経	眼科	死因
	大腿頂部骨折・股関節脱臼	尿路感染・腎盂炎・腎機能低下・低ナトリウム血症・腹部大動脈瘤	誤嚥性肺炎・気管支炎・肺炎がん・悪寒発熱・風邪	拒食・憩室炎・下血・	脳梗塞	白内障	老衰・低酸素血症・肺炎がん・脳梗塞・
	2人(3回)	5人(6回)	9人(11回)	2人(3回)	1人(1回)	1人(1回)	

養護老人ホーム千寿荘 行事催事経過

月日	行事・催事	参加者	養護老人ホーム入居者日課	
5月11日	春の遠足(島瀬ダム・梅振興館)	11名	時間帯	行動状況
6月9日	ホテル鑑賞	19名参加	起床時	安否確認 更衣確認 介助 洗面 排泄
8月5日	夕涼み会		朝食時	朝食摂取 口腔ケア 服薬確認
8月29日	流しソーメン		健康管理	体温・血圧測定 竹踏み体操 通院 入浴
9月7日	たきの里敬老会		昼食時	昼食摂取 口腔ケア 服薬確認
10月10日	秋の遠足(串本海中公園・橋杭岩)	28名参加	午後	レクリエーション クラブ活動 竹踏み体操
12月14日	忘年会・クリスマス会		夕食時	夕食摂取 服薬確認
1月11日	初詣(闘鶏神社・海鮮せんべい)	8名参加	就寝時	更衣確認介助 排泄 就寝確認
2月1日	節分会		深夜帯	巡回安否確認 介助
3月2日	観梅ツアー(インフルエンザで中止)			

3. ケアハウス「神島」

- ① 定員 15名
 ② 職員 2名 常勤換算2名 平成29年配置2名 常勤換算2名
 ③ 事業運営基本計画

近年の利用者像は自立した入居者が減少し、介護サービスを利用される方が多くなっています。「幻覚」を訴える方や「物の無くなり」を訴えられる方も少なくなく、個別ニーズから、意見や要望に添って、柔軟に対応することや、少人数である事をメリットとして活かし、利用者の自主性、相互扶助精神を大切にされた雰囲気作りに努めてきました。

1名の利用者について、当施設で自立した生活をできるだけ続けられるように努めてきましたが、入退院や昼夜の異常行動が顕著になったことから、親族さんとの相談の結果、29年8月には特養への移籍に繋がりました。

新規入居希望者等には、気軽に相談に応じ、利用者関係者の意思決定により入居いただくことができました。

要介護認定を受けた利用者には、円滑なサービス利用が図られるように支援しています。利用者の健康の維持増進のため、定期的健康検査や生活習慣病の予防と改善を考え、生活維持能力の増進のために、機能訓練参加を呼びかけ、また、個々の状態に合わせて、利用者が楽しみに出来る行事を計画実施してまいりました。

ケアハウス神島 平成29年度 h29.04.01～h30.03.31

入居者の推移・催事行事等

月末	入居者数	当月中の入居増減	催事	日課・	個別支援	施設行事参加	趣味の会・クラブ
29.04.30	10		外食支援 銀 ちろ	朝の体操・認知症予防勉強会・服薬確認・バイタルチェック・起床更衣確認・夜間巡	買い物 (コンビニ・スーパー・産直市場等) = 四季の外出 = 新庄総合公園散策 =	夕涼み会・敬老会・忘年会クリスマス会・季節分会・芋ほり焼き芋・ホタル見物・流しソーメン	カラオケ・唱歌・音楽・卓球・ナツメロ・トマト、キュウリ栽培・鉢花育成
29.05.31	11	新規入居1名	避難訓練				
29.06.30	11		外食支援 ト マト&オニオン				
29.07.30	11						
29.08.31	10	施設移籍1名					
29.09.30	10		避難訓練				
29.10.31	10		秋の遠足 す さみへ				
29.11.30	10						

29.12.31	10		外食支援 勘八屋	回・就寝確認・保安管理		館・同好会・新庄第2小学校	
30.01.31	10						
30.02.28	10						
30.03.31	10						

平成 29 年度特記事項

転倒による骨折事案の発生 2 件あり、
妄想や物忘れ等認知症様の、日常生活を営む上で支障となる障害行動が多くなってきている

平成 29 年度留意事項（実施業務の方向性等）

401号室 402号室 2床室（夫婦部屋）が長く空室のまま経過している。 活用を図りたい。

4. たきの里デイサービスセンター

① たきの里通所介護事業所では、以下の事業を実施してまいりました。

- ・通所介護事業 35人（1日）（介護保険事業）
- ・通所介護事業（障害者） 5人（1日）（支援費事業）
- ・田辺市介護予防・日常生活支援総合事業 （田辺市受託事業）
- ・通所サービス C

② 職員 10名 常勤換算 8名 平成 29 年配置 8名 常勤換算 7.5名

③ 事業運営基本計画

介護保険制度による通所介護事業所を運営するとともに、支援費制度及び通所サービス C 事業・介護予防・日常生活支援総合事業を運営し、 サービス提供の基本方針としては、利用者から選択される、サービスの提供を行うことを基本に、職員の資質の向上をはかり、ご利用者本位のサービスの提供を行いました。利用者が主体的にすごせるような場を設定して、諸サービスを計画し実施します。

通所サービス C 事業・介護予防・日常生活支援総合事業は、生活機能の低下している高齢者に対し、集中的にケアを行うことで、生活機能を維持・向上させることを目的に、基礎体力の向上を目指して実施しました。

デイサービス 平成 29 年度 h 29.04.01～h 30.03.31

ご利用者の推移

年月日	利用者数	当月中の利用者増減状況	時間帯	デイサービス日課
29.04.30	27	予防事業対象者 1名増	朝礼	職員日程予定確認

29.05.31	28	介護2名増、予防事業対象者2名減	迎車	在宅訪問
29.06.30	28	介護1名減	受け入れ	水分補給、健康チェック、手帳確認、体調確認、
29.07.30	27	予防事業対象者2名増	入浴	入浴サービス提供、身体変化の有無確認
29.08.31	29	予防事業対象者2名減	健康体操	嚥下体操
29.09.30	27	介護3名増予防事業対象者1名増	昼食	昼食摂取
29.10.31	31	介護2名減予防事業対象者1名増	休息	
29.11.30	30	増減なし	午後	レクリエーション 外出、喫茶の週
29.12.31	30	介護1名減予防事業対象者1名増	おやつ	おやつ摂取、体調確認、連絡帳記入
30.01.31	30	介護1名増予防事業対象者2名減	送り	在宅送り届け
30.02.28	29	介護7名減予防事業対象者4名減	記録整理	個人情報記録
30.03.31	19	デイ閉鎖に伴って全員終了		

たきの里通所介護事業所 催事行事等

催事・行事等	場所	参加者	感想
4月の楽しいデイ	湯崎浜広場足湯	85	お湯の温度が丁度良く気持ちよい
5月の楽しいデイ	白浜のバラ園	65	生きているうちに見に来てよかった
7月の楽しいデイ	岡の大賀ハス	69	暑かったけど蓮の花が見れてよかった
たきの里夕涼み会	たきの里玄関前	13	職員によさこい踊りが上手だった
8月デイ夏祭り	1階交流ホール	69	ヨーヨー釣りや人形すくい楽しかった
たきの里敬老会	1階交流ホール	19	祝い食を職員さんと共に頂いた
9月デイ敬老会	1階交流ホール	73	利用された方々の笑顔が良かった
10月の楽しい	長生の足湯	78	気持ちよかった ぐっすり眠れた

デイ			
デイクリスマス	1階交流ホール	8 5	サンタからのプレゼントうれしかった
忘年会・Xマス	1階交流ホール	1 7	舞台の出し物上手で楽しかった
1 2月楽しいデイ	とれとれ市場	8 1	買い物や試食を楽しまれた
1月の楽しいデイ	各所神社	7 1	初詣に行けてなかったのがよかった
デイ節分会	1階交流ホール	7 5	家では豆まきをしないので楽しかった
デイさよならパーティー	1階交流ホール	7 4	ホットケーキを焼きながら談笑、いい思い出になった
3月の楽しいデイ	海鮮せんべい・リバー ージュスパ・白浜マ リオネットホテル	3 5	最後に広い温泉に入れていい思い出になった おせんべいのお土産をいただいて申し訳なかった

平成 29 年度特記事項

経営環境が厳しさを増す中、重要な設備はほぼ完備し、十分なサービス空間が確保されているがただ、設備の設置場所が散在している等のことから、効率的な運営を図るには課題があった。介護サービス提供と見守り等のために、ご利用者の多少にかかわらず、一定の職員配置が必要でやむなく非効率な運営を停止することになった。

平成 29 年度留意事項（実施業務の方向性等）

要介護状態になった場合においても、その利用者が可能な限りその居宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるように支援してきました。
利用者の社会的孤立感の解消及び心身の機能の維持並びに利用者の家族の身体的及び精神的負担の軽減をはかってきました。

たきの里地域福祉交流センター

たきの里と地域住民との交流の場として、積極的に視察研修等を受けいれるとともに、資格取得実習者についても受け入れていきました。

また、知的障害者の社会参加と就労の訓練の場となっている、福祉ショップの運営に対しても支援しました。

5. たきの里訪問介護事業

職員 13名 常勤換算 5名 平成29年配置 15名 常勤換算 5.8名

事業運営基本計画

事業所訪問介護職員は要介護者及び要支援者の心身特性を的確に踏まえ、その有する能力に応じた自立生活の実現を支援することを目標とし、入浴・排泄・食事・居室清掃・その他生活全般に亘る援助を提供しました。

6. 居宅介護支援事業

① 職員 2名（専従2名） 平成29年5月より担当職員1名（専従）とする。

② 事業運営経過

当初計画通り、利用者の心身機能、活動（生活）、参加(人生)を理解し、十分なアセスメントを行い、そして、それによって生活障害の改善が図られたかのモニタリングも確実に実施しサービス事業所や行政等との連携、調整を図りました。

更に、利用者に対しての質の高いサービス提供が行えるよう介護支援専門員の資質の向上に努めました。

居宅 平成29年度 h29.04.01～h30.03.31

契約者の推移

月	契約者数			当月中の契約増減者	平成29年度特記事項
	予防	介護	計		
29.04.30	7	19	26		
29.05.31	7	20	27	増	
29.06.30	7	21	28	増	
29.07.30	7	21	28		
29.08.31	7	21	28		
29.09.30	7	20	27	減	
29.10.31	8	19	27	減 増	平成29年度留意事項（業務の方向性等）
29.11.30	8	19	27		「利用者本位」「公正中立」の心構えで対応する。
29.12.31	8	20	28	増	利用者さんが「自分らしい生活を送れる、快適な暮らしができる」様に支援していく。
30.01.31	8	19	27	減	
30.02.28	8	20	28	増	
30.03.31	8	18	26	減2	

7. 特定施設入居者生活介護・介護予防特定施設入居者生活介護事業

① 養護老人ホーム千寿荘定員76名の内、平成29年度特定契約者は44名から49名で推移した。

② 職員12名 常勤換算6.2名 平成29年配置16名 常勤換算8.5名

③ 事業運営基本計画

特定施設入居者生活介護・介護予防特定施設入居者生活介護事業の基本業務として、以下の生活介護支援を実施しました。

ア) 利用者ニーズの把握と生活相談、

イ) 介護サービス計画の作成、

ウ) 安否の確認、

エ) 契約による介護サービス事業者のサービス提供体制の確保、

利用者が要介護状態、要支援状態となった場合においても、その心身の状況や、置かれている環境等に応じて、利用者やその家族の意向を基に、必要な支援を行っています。

特定施設入居者生活介護 契約者の推移 平成29年度 h 29.04.01～h 30.03.31

年月日	契約者数			内算定 ゼロ	当月中の契約増 減	平成29年度特記事項
	要介護	要支援	契約者数			
29.04.30	36	9	45	1		平成29年度特記事項 次年度から一般型特定に切り替えるために、人材の確保や介護器具の準備を行った。 平成29年度留意事項(業務の方向性等)
29.05.31	36	8	44	2		
29.06.30	37	8	45			
29.07.30	39	8	47		新2	
29.08.31	37	10	47	1	新I	
29.09.30	37	10	47			
29.10.31	38	10	48			
29.11.30	38	10	48	1	新2	
29.12.31	38	11	49			
30.01.31	38	11	49			
30.02.28	36	11	47	2		
30.03.31	34	10	44	1	デイ利用者2減	

比較項目	外部サービス利用型	一般型
サービス単位	時間サービス(介護者+職員の割振)事務的負担	日単位の包括サービス提供(所要時に実施)
職員	宿直体制	夜勤体制
介護器具・備品	原則リース	事業所が提供